

非常災害時に備えた高速道路緊急開口部訓練(南海レスキュー訓練)

四国総合通信局では、「NEXCO西日本とインフラ機関各社との連携に関する協定」に基づき、早期の緊急輸送路確保を目的とした高速道路緊急開口部(※)の開閉訓練を毎年実施しています。本年度は、陸上自衛隊の「南海レスキュー訓練」の一環として、NEXCO西日本のご協力のもと、令和8年1月19日(月)に香川県内の高速道路パーキングエリアにおいて、陸上自衛隊第14旅団及び通信事業者各社とともに訓練を実施しました。本訓練により、当局は非常災害時において、情報通信設備が機能停止することなく電源供給できるよう、自治体や通信・放送事業者に対して移動電源車を迅速に派遣・貸し出す体制をより強化することが可能となります。今後も災害発生に備えた実践的な訓練を通じて、防災対応力の向上に取り組んでまいります。



(※) 緊急開口部：高速道路のSAやPA等に設置されているゲートで、平常時は閉鎖・施錠され、緊急時(災害や交通事故が発生した時等)には状況に応じて臨時的に開放され、緊急車両(救急車、消防車、自衛隊車両等)がこのゲートを通じて一般道路から高速道路に出入りする。



NEXCO西日本との連携に関する協定概要

(目的) 災害発生時における迅速な被災地復旧活動のため円滑な相互連携を図る。

(概要) 災害発生時にNEXCO側は通信事業者に対して通信確保のための災害復旧車両等の走行にかかる調整や通行経路に関する情報提供及び緊急開口部の活用などを行うとともに、通信事業者側では発見した道路の被害状況の情報提供、復旧作業に必要となる通信機器(衛星電話、携帯電話)の貸与、復旧作業に必要となるETC等のNEXCO無線局の開設等に対する臨機の措置等を実施。